

整備の進め方

考え方

- 重点整備の実施
 - ・道路状況や事故の発生状況等を踏まえ、効果の早期発現が期待できる整備を重点的に実施します。具体的には、中心部の幹線道路において、効果が特に見込める場所に限定して車道左側通行を周知・誘導する路面表示を整備します。
- モデル整備の実施
 - ・パーキングチケット等の設置や幹線道路の一方通行など課題のある区間において、モデル整備及び効果検証を行うことにより、整備の確実な進捗を図ります。
- 道路整備等との連携
 - ・道路の整備、改良、補修等にあわせて行うことにより、整備の効率的な進捗を図ります。
- PDCAサイクルの導入
 - ・計画の進捗管理や効果検証等を行った上で、5年を目途に必要なに応じて見直しを実施します。

自転車通行環境整備計画 (素案)【概要版】

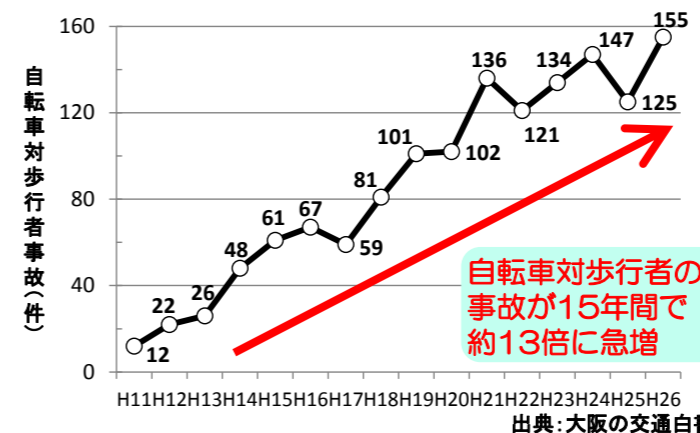
作成中

写真:左:みなと通り/右:大川沿い

- 大阪市では、歩いて楽しいまちづくりをめざして、自動車の通行機能を確保しつつ都心を人に開放するため、歩行者・自転車の安全な通行環境の整備に努めていきます。
- その中で、自転車利用の現状等を踏まえ、安全な自転車通行環境の整備が効果的かつ確実に進められるよう整備計画を策定します。

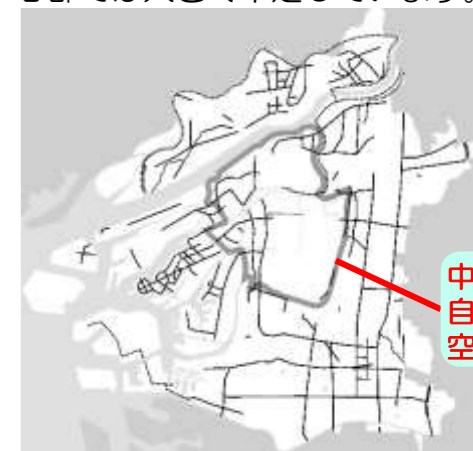
＝中心部における整備の必要性・緊急性＝

- ※中心部:北区、中央区、西区、福島区、浪速区、天王寺区の6区
- 自転車と歩行者の事故が急増しており、その安全対策として、歩行者と自転車の通行空間の分離が求められています。



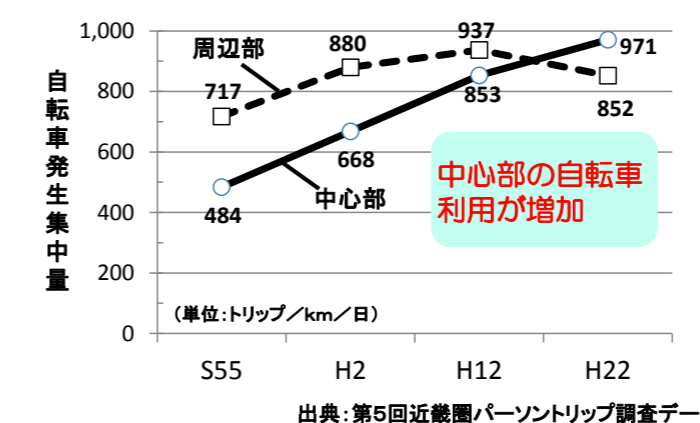
＝中心部における整備の不足＝

- 周辺部では、視覚的に分離された自転車通行空間が概ね確保されていますが、中心部では大きく不足しています。



中心部では自転車通行空間が不足

- 特に、中心部では、自転車利用が大きく増加しており、放置自転車対策と合わせて、喫緊の課題となっています。



＝本町通における整備と効果＝

- 中心部に自転車通行空間を整備することにより、自転車の車道通行が増加し、逆走が減少。



本町通



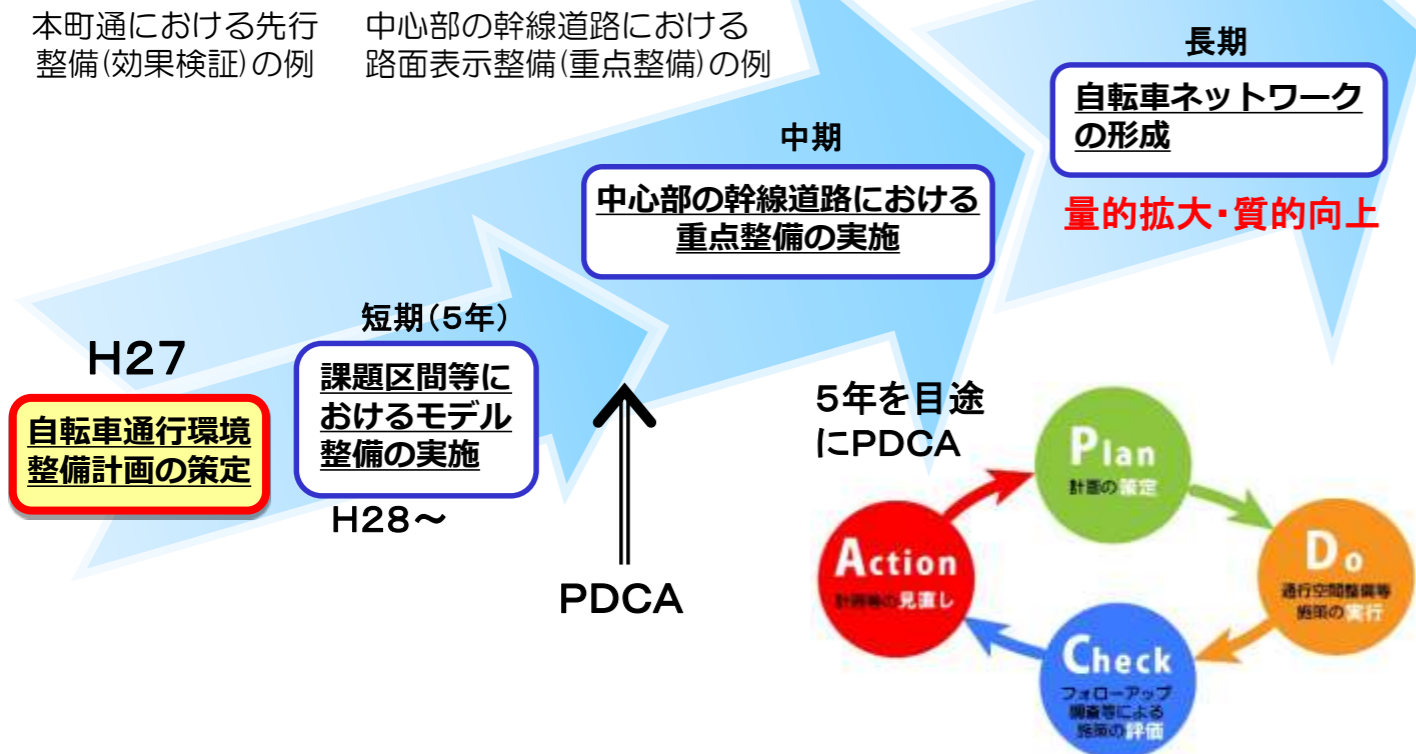
【整備スケジュールイメージ】



本町通における先行整備(効果検証)の例



中心部の幹線道路における路面表示整備(重点整備)の例



問合せ先

大阪市建設局管理部自転車対策課 (平成27年〇月)
06-6615-7699

整備計画の
基本方針

中心部に重点をおいた
自転車通行環境の整備に取り組む